情報倫理講習



大学教育センター 情報教育部門

学術情報基盤センター 情報メディア教育支援部門

情報倫理講習の流れ

- 1. 情報化社会の特徴 (メリット・デメリット)
- 2. インターネット上での問題に対処するために
- 3. 南大沢キャンパスの情報環境
- 4. 情報処理教室の利用マナー
- 5. 教育研究用情報システム利用規程



情報化社会の特徴

メリット

- 圧倒的な情報量と伝達速度
- 情報ネットワークの拡大
 - グローバル化
 - 各種産業での利用
- 教育の情報化
 - オンライン学習の発展

デメリット

- デジタルデバイド(情報格差)
- 匿名性・拡散性の悪用
 - なりすまし
 - 他者への誹謗中傷
- 情報の信憑性・無保証性
 - 偽情報やデマの混在



押さえておくべき5つのポイント



情報セキュリティ(ウィルス対策・パスワード管理)



● 情報モラル・ルールとマナー



ソーシャルメディア (SNS・ブログ・FAQサイト)



著作権 · 肖像権侵害



ネット犯罪(情報漏洩・ネット詐欺)



↑ 情報セキュリティ(ウィルス対策・パスワード管理)

- 利用者に被害をもたらすように作成された悪意あるプログラム (コンピュータウイルスを含む)を総称してマルウェアと呼ぶ
- メール、USBメモリ、文書ファイル、ファイル共有ソフト、 ウェブ(プログラムや動画ファイルの実行、ウェブページの閲覧)、 ソフトウェアのインストール、ネットワーク経由などで感染が 拡大する



情報セキュリティ(ウィルス対策・パスワード管理)

- セキュリティ対策ソフトを導入し、定期的に端末をスキャンする
 - イーセット、ノートン、ウィルスバスター、カスペルスキー、 Windows Defender (Windows 10以降は標準搭載) など
- OSなどのソフトウェアを更新する(修正プログラムを適用する)
- パスワードを推測されにくいものにする・使い回さない・適切 に管理する



賃報モラル・ルールとマナー

- 情報のやり取りに関する道徳や倫理(情報モラル)を守る
 - 情報収集:著作権を侵害しない、有害な情報に安易にアクセスしない
 - 情報発信:プライバシーを侵害しない、個人情報の扱いに気をつける
- インターネットを利用する際の**ルールとマナー**を忘れない
 - 差別用語や誹謗中傷する用語、脅迫的・感情的な表現を用いない
 - メールを送る際は、添付ファイルの容量や件名のつけ方に注意する

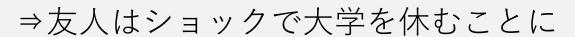


賃報モラル・ルールとマナー

インターネット掲示板への書き込みによるトラブルの例



大学の友人の悪口を冗談でインターネット掲示板に書き込んだところ、書き込みを見た他人が次々に悪口を投稿





出典:kibacoコースウェア (イラスト:赤星ポテ子)



賃報モラル・ルールとマナー

- オンラインでの個人攻撃(名誉棄損・いやがらせ)、迷惑メール (標的型攻撃メール・広告宣伝メール・ウィルスメールなど)の問題に 巻き込まれないよう気をつける
- 自分の行為に責任を持ち、情報を正しく安全に活用することが 求められる



<u>●</u>情報モラル・ルールとマナー

標的型攻撃メールの例

差出人: XXX銀行 <xxx-bank@example.com>

件名: XXX銀行より大切なお知らせ(20XX年4月1日更新)

こんにちは!

XXX銀行のシステムについて、安全性の更新がされました。

お客様のアカウントが凍結されないように、直ちにアカウントを認証してください。

https://www.powr.io/plugins/form-builder/viewz?id=3275403&mode=page



※実際に届いたメールの一部を修正しています。

安易にクリックしない 別のウェブサイトに誘導されても個人情報を入力しない



ツーシャルメディア(SNS・ブログ・FAQサイト)

- インターネット上で利用者同士が情報を共有し合う場のことで、 SNS、ブログ、FAQサイトなどが該当する
- 利用者が発信する情報を、世界中の不特定多数または特定少数 の人々が自由に閲覧・応答できる



ツーシャルメディア(SNS・ブログ・FAQサイト)

- 個人情報や秘密情報を流出させないよう気をつける
 - 写真の位置情報や被写体から、場所を特定される場合がある
 - SNSの鍵付きアカウントでの投稿も、フォロワーにより拡散されうる
 - 情報は履歴として残り、容易に削除できないことを理解する
- SNS依存、SNS疲れを感じた際は、活用の仕方を考え直す
 - 「バズリ」「炎上」が日常生活に影響を及ぼす場合もある



■ 著作権・肖像権侵害

- 著作権とは、**著作物**(小説・音楽・絵画・映画・建築物・プログラムなど)の権利者が利益を守るための権利のこと
- 著作物は**ライセンス (使用許諾)** に従った利用が求められるが、 規定の条件で著作者の承諾を得なくてよい場合もある
 - 例外的な利用:私的使用のための複製、図書館等における複製、 引用、学校その他の教育機関における複製等



■ 著作権・肖像権侵害

著作権侵害の代表例

- ウェブサイト内の文章や図表を、無断でレポートに転記する (引用部分を明示していない、出典を記載していない)
- 教員が提供している資料を、本人の許可なくLINEで共有する
- 著名人の投稿した画像を保存し、無断でInstagramに掲載する
- 違法アップロードされた画像、音楽、動画をダウンロードする



著作権・肖像権侵害

- 肖像権とは、自分の写真や映像を無断で撮影され、公表される ことがないよう保護を受けることのできる権利のこと
- 人格権に則したプライバシー権と財産権に則したパブリシティ 権という2つの側面がある
 - 著名人 (芸能人・アーティストなど) の肖像は財産にあたるため、無断で 撮影・使用・公開することは、パブリシティ権侵害にあたる



■ 著作権・肖像権侵害

肖像権侵害の代表例

- 著名人が出ているテレビやDVDの映像を録画し、YouTubeで 公開する
- 友人を撮影した動画を、本人の許可なくTik Tokに投稿する
- オンライン授業で参加者のスクリーンショットを撮り、 Twitterに投稿する





情報漏洩の対策

- ・メールの誤送信、ウィルス感染、ソーシャルメディアでの情報 公開、オンラインストレージの利用に気をつける
 - オンラインストレージとはインターネット上のデータ保管場所のこと
 - OneDrive、Google ドライブ、Dropboxなどの共有フォルダについて、 アクセス権限(閲覧のみ、追加のみ、編集可能など)を適切に設定する



ネット犯罪(情報漏洩・ネット詐欺)

ネット詐欺の名称	多様化する手口の例
フィッシング詐欺	実在する企業や金融機関を装った偽メールを送信し、 偽サイトに誘導して個人情報を入力させる
ワンクリック詐欺	有料サイトに会員登録したと誤解させ、不当な金銭を 請求する
なりすまし	第三者がアカウントに不正ログインをして犯罪行為を 行う/SNSでアカウントを乗っ取り勝手に投稿をする



ネット犯罪(情報漏洩・ネット詐欺)

フィッシング詐欺の偽メールの例



↑ ネット犯罪(情報漏洩・ネット詐欺)

悪質サイトでの会員登録によるトラブルの例



オンラインゲームの裏技や攻略法が掲載されているサイトにアクセスし、IDとパスワードを登録して無料ダウンロードを実行





出典:kibacoコースウェア (イラスト:赤星ポテ子)



南大沢キャンパスの情報環境

- ネットワークシステムにより、どこでも共通の情報環境を提供
 - 1号館320教室、330教室、340教室、350教室
 - 1号館305教室、306教室(TALL教室)
 - 情報処理施設113教室、115教室
- 開放時間の最新情報はTMUNERで確認しましょう
- 困ったときは、tutor (開放立合相談員) に相談しましょう



南大沢キャンパスの情報環境

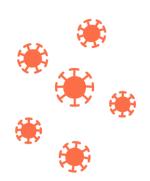
貸出用ノートパソコン

貸出場所	利用可能エリア
1号館306教室 (TALL教室)	1号館305教室、306教室
AV棟	学内(持ち出し可)
図書館	図書館内



情報処理教室の利用マナー

- 入室時(再入室を含む)は学生証の顔写真を明示する
- 室内では教員およびtutorの指示を守る
- 利用終了時は必ずサインアウトをする



新型コロナウイルス感染症対策のため、 消毒と換気にご協力をお願いいたします。





情報処理教室の利用マナー

禁止事項

- 1. 傘・雨具の持ち込み
 - かばんに入らない場合は廊下の傘立てを利用する
- 2. 室内での飲食
 - 飲食物(飲料・飴・ガムを含む) はかばんの中に入れる
 - 飲食(水分補給を含む)する際は廊下に出る





情報処理教室の利用マナー

禁止事項

- 3. ゲームなど学習や研究に無縁の物の利用
- 4. スマートフォンでの通話や大声などの迷惑行為
- 5. 用紙の持ち込み・大量印刷・ 複数端末 (座席を含む) の占有
- 6. 端末以外の室内機器 (空調を含む) の操作





教育研究用情報システム利用規程

利用の停止

第10条

利用者が、この規程又はこの規程に基づく定めに違反した場合、 その他教育研究システムの運営に重大な支障を生ぜしめた場合 には、管理者は、一定期間教育研究システムの利用を停止させる ことができる。

出典:教育研究用情報システム利用規程

